

土谷社長に発明功労賞

平成30年度全国発明表彰

平成30年度全国発明表彰式が12日、発明協会総裁の常陸宮殿下ご臨席のもとホテルオークラ東京(東京都港区)で挙行され、受賞者をはじめ多数の来賓が出席した。主催

は(公社)発明協会(野間口有会長)。国歌奏楽に続き開式となり、式辞の中で野間口会長は「産業経済のグローバル化が一段と進展する中で、国際社会で機能的役割を果たしていくためには、さらなるイノベーションの創出が不可欠。引き続き本表彰を通じて知的創造活動の活性化を図り、科学技術の

土谷社長夫妻



振興と産業の発展に尽力していききたい」と述べた。同表彰は大正8年に始まり、優れた発明や意匠の完成により科学技術の発展に貢献し、また多年にわたり発明の奨励や知的財産権制度の普及啓発に尽力した人の功績を顕彰するもの。恩賜発明賞、21世紀発明賞、特別賞(内閣総理大臣賞他各賞)、

内閣総理大臣(西村康稔)で、私はそのあとを継ぎ、発明協会では幹事を務めさせていただいた。林芳正文部科学大臣(戸谷一夫)文部科学省事務次官(代読)、世耕弘成経済産業大臣(大串正樹)経済産業大臣(代読)よ、名譽なことであれしく思う」と謝意を表し、また、

発明奨励功労賞を受賞した(株)土谷特殊農機具製作所の土谷紀明代表取締役は、平成14-27年まで帯広発明協会の会長と(一社)北海道発明協会の副会長を、その他に発明協会幹事や帯広少年少女発明クラブ会長を務めてきた。「先代が昭和53年に同賞をいただいた。帯広発明協会の初代会長 昂に語った。